

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果分析【竹田市】

(小学校6年：国語)

(▲…県平均より低い、下線…全国平均より低い)

分類	区分	設問数	平均正答率		
			竹田市	大分県(公立)	全国(公立)
全体		14	▲64	67	63.8
学習指導要領 の領域	話すこと・聞くこと	3	▲71.5	76.0	72.3
	書くこと	3	▲56.6	57.0	54.5
	読むこと	3	▲80.7	83.8	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質の関する事項	5	▲52.6	57.1	53.5
問題形式	選択式	7	▲73.0	77.9	75.1
	短答式	4	▲48.7	52.2	48.7
	記述式	3	61.2	60.6	57.6

(1) 領域・問題形式から

全体の平均正答率が全国平均とほぼ等しく、県平均より低い。

- すべての領域において、平均正答率が県、全国より低い。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質の関する事項」「話すこと・聞くこと」の平均正答率が特に低い。

「記述式」(3問)の正答率が県・全国よりも高く、無解答率が低い

- 書くことに関しては、県平均とほぼ同等であり、全国平均を上回った。読み取る力が備われば、記述式(書いて発信する力)がさらに伸びてくると考えられる。

(2) 問題別にみる課題と授業改善について

	問題の概要	出題の趣旨	授業改善について	正答率
1 四 (1) ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	同様の問題(調査のたいしょう)の正答率も低い。まずは文章を書くときに、漢字を使う事を徹底させていく必要がある。	竹田市 21.7 大分県 36.8 全 国 35.6
3 二	昼職人への【インタビューの様子】の□の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	教育活動全体で言語活動を充実させ、単に「質問の仕方」を技能として学ぶだけではなく、「何のために、どのような情報を聞き出したいのか」といった目的を明確にし、振り返らせるような経験を積ませていく必要がある。	竹田市 61.8 大分県 70.9 全 国 67.4
2 一 (1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】に入る、疑問に思ったこと①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む	1を選択している児童の割合が多かった。食べ物がくさる主な原因については捉えることができているが、問題の意図とは異なる。目的に応じて、内容を読み取る力が不足している。	竹田市 78.3 大分県 81.9 全 国 80.7

(小学校 6 年 : 算数)

(▲…県平均より低い、下線…全国平均より低い)

分類	区分	設問数	平均正答率		
			竹田市	大分県(公立)	全国(公立)
全体		14	▲ <u>63</u>	67	66.6
学習指導要領 の領域	数と計算	7	▲ <u>59.4</u>	64.1	63.2
	量と測定	3	▲ <u>46.3</u>	52.0	52.9
	図形	2	▲ <u>76.3</u>	77.1	76.7
	数量関係	3	▲ <u>64.5</u>	68.2	68.3

(1) 領域から

すべての領域において、正答率が県、全国平均より低い。

○従来の区分の「知識」に関する問題は県平均や全国平均との差は小さいが、「活用」に関する問題の差が大きい。

○領域では「数と計算」「量と測定」が、県平均や全国平均との差が大きい

(2) 問題別にみる課題と授業改善について

	問題の概要	出題の趣旨	授業改善について	正答率
2 (3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる	<u>複数の資料の特徴や傾向を関連付け</u> 、一つの資料からは判断することができない事柄について <u>判断することができる</u> ように教科横断的な指導を行う	竹田市 <u>38.2</u> 大分県 49.1 全 国 52.1
2 (4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	<u>加法と乗法の混合した整数と小数の計算</u> をすることができる	<u>計算の順序についてのきまり</u> は、単に暗記するだけではなく、 <u>具体的な場面と関連付け</u> ながら確実に理解できるようにする	竹田市 <u>54.6</u> 大分県 62.9 全 国 60.1
3 (3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、 <u>計算しやすい式にして計算</u> できる	計算をする際には、 <u>数を多面的にみて</u> 、 <u>計算を能率的にする</u> 学習活動も取り入れ、数についての感覚を豊かにする。	竹田市 <u>69.1</u> 大分県 77.5 全 国 74.9

(中学校3年：国語)

(▲…県平均より低い、下線…全国平均より低い)

分類	区分	設問数	平均正答率		
			竹田市	大分県(公立)	全国(公立)
全体		10	74	74	72.8
学習指導要領 の領域	話すこと・聞くこと	3	75.5	72.2	70.2
	書くこと	2	▲82.6	83.6	82.6
	読むこと	3	▲ <u>69.7</u>	73.5	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	70.2	66.3	67.7

(1) 領域から

全体の平均正答率は、全国平均を上回り、県平均と等しい。

○「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、県平均、全国平均ともに上回っているが、「読むこと」「書くこと」に課題がある。

(2) 問題別にみる課題と授業改善について

	問題の概要	出題の趣旨	授業改善について	正答率
1 一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、 <u>根拠を明確にして自分の考えをもつ</u>	説明的な文章を読む際には、文章の表現の仕方についても考える。その際、そのような表現をした <u>書き手の目的や意図</u> を考えたり、 <u>その効果</u> について考えたりする。	竹田市 <u>57.0</u> 大分県 65.4 全 国 63.9
1 二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して <u>情報を整理し、内容を捉える</u>	説明的な文章を読む際には、生徒自身が <u>目的意識をもって文章を読み、必要な情報を整理</u> することができるように指導を工夫する。	竹田市 <u>57.9</u> 大分県 62.7 全 国 61.5
3 一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、 <u>論の展開にふさわしい語句や文の使い方</u> を検討する	文章を書く時は、伝えたい事が読み手に効果的に伝わるように <u>説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んだり</u> することに留意して書くように指導する。また観点を明確にして <u>生徒同士が交流</u> したりすることも重要である。	竹田市 <u>69.1</u> 大分県 77.5 全 国 74.9

(中学校3年：数学)

(▲…県平均より低い、下線…全国平均より低い)

分類	区分	設問数	平均正答率		
			竹田市	大分県(公立)	全国(公立)
全体		10	▲60	61	59.8
学習指導要領 の領域	数と式	3	67.8	64.6	63.8
	図形	2	<u>71.3</u>	71.3	72.4
	関数	3	▲ <u>39.7</u>	44.7	40.8
	資料の活用	2	▲ <u>54.1</u>	57.0	56.3

(1) 領域から

全体の平均正答率は、全国平均を下回り、県平均とほぼ等しい。

○「数と式」は、県平均、全国平均ともに大きく上回っているが、「関数」「資料の活用」に課題がある。

(2) 問題別にみる課題と授業改善について

	問題の概要	出題の趣旨	授業改善について	正答率
8 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	目的に応じて(生活と関わって)データを収集して整理し、資料の傾向を読み取る活動を取り入れ、資料の代表値を求めることができるように指導の工夫をする。	竹田市 <u>50.4</u> 大分県 59.9 全 国 57.9
8 (2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	代表値を求めたりデータの分布の様子を読み取ったりする場面を設定し、その傾向を捉えて、批判的に考察し判断できるように指導する。物事を単に否定することではなく、多面的に吟味し、よりよい解決や結論を見いだすことに留意する。	竹田市 <u>36.4</u> 大分県 42.5 全 国 40.8
6 (2)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる	問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるように指導する。	竹田市 <u>69.1</u> 大分県 77.5 全 国 74.9

(中学校3年：英語)

(▲…県平均より低い、下線…全国平均より低い)

分類	区分	設問数	平均正答率		
			竹田市	大分県(公立)	全国(公立)
全体		21	▲ <u>52</u>	55	56.0
学習指導要領 の領域	聞くこと	7	▲ <u>65.1</u>	66.4	67.9
	読むこと	6	▲ <u>52.2</u>	55.3	55.6
	書くこと	8	▲ <u>40.9</u>	45.4	45.8

(1) 領域から

すべての領域において、正答率が県、全国平均より低い。

○特に「書くこと」「読むこと」に関して、県平均、全国平均との差が大きい。

(2) 問題別にみる課題と授業改善について

	問題の概要	出題の趣旨	授業改善について	正答率
9 (3) ③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の <u>否定文を正確に書くことができる</u>	特定の言語材料のみを用いて文を書かせるだけではなく、コミュニケーションの <u>目的や場面、状況のある言語活動</u> において、様々な個別の知識を活用させて文を書かせることを授業の中に位置付ける	竹田市 <u>24.8</u> 大分県 38.0 全 国 37.4
7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	<u>まとまりのある文章</u> を読んで、説明文の <u>大切な部分を理解</u> することができる	文章全体を漫然と読ませるのではなく、繰り返し用いられている語(句)や問いかけなどの手掛かりを基にして、 <u>最も大切な語句や文</u> を選ばせたり、 <u>各段落の働き</u> を理解させたりする	竹田市 <u>25.6</u> 大分県 30.8 全 国 32.8
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、 <u>簡単な語句や文</u> で書かれたものの内容を、 <u>正確に読み取る</u> ことができる	既習の語や文法事項等の知識を活用して、 <u>文構造</u> を適切にとらえたり、 <u>動詞等の内容語</u> を正確に読み取ったりしながら、書かれているものの <u>内容や</u> 、必要とする <u>情報を取り出す</u> ことができる力を身に付けさせる	竹田市 <u>71.1</u> 大分県 78.9 全 国 79.4